

定例記者会見資料



○日 時	平成23年6月8日（水） 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p>【全キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">平成23年度オープンキャンパスの実施について 浜田キャンパス……………【資料1-①】 松江キャンパス……………【資料1-②】 出雲キャンパス……………【資料1-③】 <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">蔚山大学校日本語日本文化研修生の受け入れについて……………【資料2】東日本大震災災害ボランティア報告会について……………【資料3】 <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">『第38回ほいくまつり』のご案内……………【資料4】公開授業「響き合う神話の音—ハーンがつなぐギリシャと出雲—」の開催について……………【資料5】
○資料提供項目	<p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">特別講演「医療のあり方：がん哲学外来 in Medecal café」の開催について……………【資料6】特別講演「いずも SS2011 ADHD の子どもへの対応」の開催について……………【資料7】「看護学志望者セミナー」の開催について……………【資料8】中村俊郎客員教授特別講義 「石見銀山の地から希望の補装具を！！」の開催について……………【資料9】成人看護特論（災害看護）における看護学生の防災ヘリ試乗体験……………【資料10】
○行事予定	

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200

平成23年 6月 8日
島根県立大学 浜田キャンパス
アドミッション室 石飛、的場
〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2
(TEL)0855-24-2203 (FAX)0855-23-7352

平成23年度第1回オープンキャンパスの実施について

1. 日時

平成23年7月16日(土) 11:00～15:30

※第2回オープンキャンパスは平成23年9月17日(土)に開催します。

2. 場所

島根県立大学浜田キャンパス

3. 内容

大学紹介、先輩が語る大学生活・留学体験・合格体験、キャンパスランチ交流会、模擬授業、キャンパスツアー、クラブ・サークル体験等。

※松江方面、益田方面、広島方面より送迎バスを運行します。

4. 参加申込み

以下のいずれかの方法で7月7日(木)までにお申し込みください。

①インターネット(携帯・パソコン共通)から申し込み

アドレス <http://daigakujc.jp/u-shimane/>

②FAX(0855-23-7352)で申し込み

申込書に必要事項を記入し、FAXしてください。

5. 問い合わせ先

島根県立大学浜田キャンパス アドミッション室

TEL 0855-24-2203 FAX 0855-23-7352 E-mail ac@u-shimane.ac.jp

オープン キャンパス

7.16 土

参加申込期限：7月7日(木)までに
お申込ください。

マスコットキャラクター
「オロリン」



学生生活から寮生活、大学祭
授業やサークル活動、留学、
資格取得、就職のことなど…。
聞いて安心できる内容が盛りだくさん。

無料送迎バス

当日は松江方面・益田方面・広島方面から無料送迎バスを運行。

キャンパスランチ交流会(無料)

お昼は学生ボランティアの先輩たちと学食の味を堪能。

県大オリジナルグッズプレゼント

アンケートに答えた学生全員にプレゼント!

授業体験

一足早く県大の授業を体験してみませんか?

学生相談・進学相談会

県大について知りたいことを聞いてみよう!

生の声を
聞いて・見て・体験しよう。
夢が形で見えてくると
やる気がどんどん
出てくるよ!!

当日のスケジュール

県大ライブ
体験と交流の
1日

10:30~	受付開始
11:00~11:10	学長あいさつ
11:10~11:20	大学紹介 ●大学とは ●総合政策学とは
11:20~11:50	先輩が語る大学生活・留学体験・合格体験
12:00~12:50	キャンパスランチ交流会
13:00~13:45	授業体験 保護者向け説明会・浜田市紹介
13:45~15:30	学生生活相談 進学相談・学生生活相談会 クラブ・サークル体験 キャンパスツアー スタンプラリー&スタンプラリー抽選会 アンケート&オリジナルグッズプレゼント キャンパスライフ体験証を交付
15:45	各ルート無料送迎バス出発

※当日は上記以外にも多数のプログラムをご用意して皆さんの参加をお待ちしております。お楽しみに!!

OPEN CAMPUS 7.16



マスコットキャラクター
「オロリン」

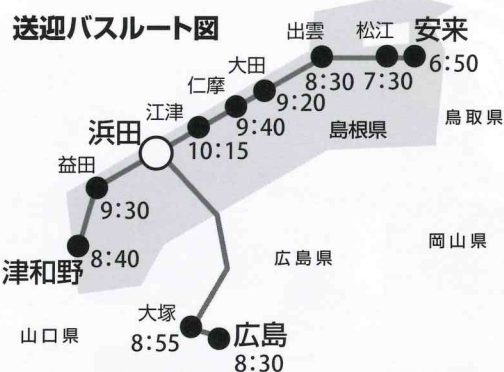
送迎バス ルートと時間

<松江方面> 安来駅(6:50)→松江駅南口ユニバーサルホテル前(7:30)→出雲市駅高速バス乗り場(8:30)→島根県大田集合庁舎前(9:20)→大田市仁摩支所前(9:40)→江津駅(10:15)→島根県立大学

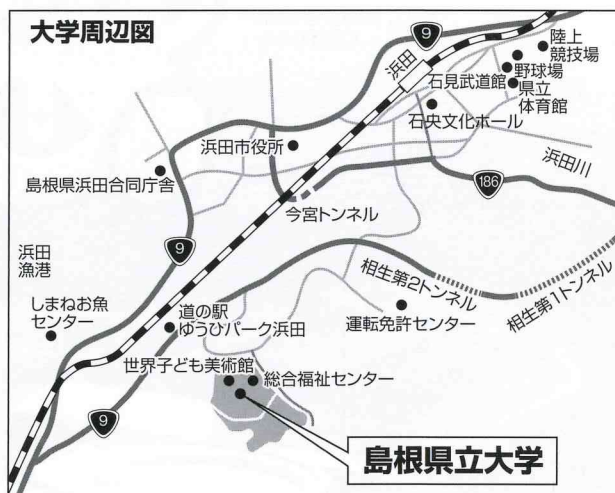
<益田方面> 津和野駅(8:40)→益田駅(9:30)→浜田駅(10:30)→島根県立大学

<広島方面> 広島駅新幹線口(8:30)→大塚駅バス停(8:55)→島根県立大学

※帰りバス 帰りルートは行きルートと逆ルートです。
県立大学を15:45に松江方面、益田方面、広島方面に向けて出発する予定です。



- JR松江駅集合場所……駅構内改札口付近
- JR出雲市駅集合場所……駅構内改札口付近
- JR広島駅集合場所……新幹線口バスのりば

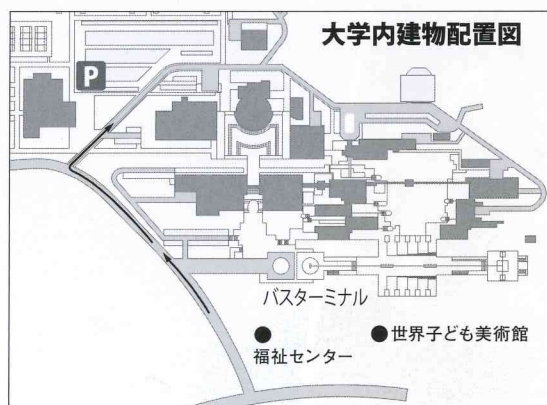


お申し込み 方法

パソコンや携帯電話を使って、インターネットから**7月7日(木)**までにお申し込みください。

※なお、島根県内の高校生は、高校で申し込みを取りまとめる場合がありますので、個人で申し込む前に進路担当の先生にご確認ください。

<http://daigaku.jc.jp/u-shimane/>



島根県立大学短期大学部松江キャンパス
教務学生課 吾郷
〒690-0044 島根県松江市浜乃木 7-24-2
(TEL)0852-20-0215 (FAX)0852-21-8150
(E-mail)gakumu@matsue.u-shimane.ac.jp

平成23年度オープンキャンパスの実施について

1. 日時

平成23年8月10日(水) 10:00～15:30

2. 場所

島根県立大学短期大学部松江キャンパス(島根県松江市浜乃木7-24-2)

3. 内容

受付 9:30～11:00

午前 概要説明(会場:大講義室)

第1回目 10:00～10:50

第2回目 11:00～11:50

※第1回、第2回の内容は同じですので、どちらかに御参加ください。

(並行して学内自由見学・相談コーナー・過去問題閲覧コーナー等を設置)

午後 各学科・系の説明及び見学 13:30～15:30

御希望の方に個別相談 15:30～

4. 参加申込み

以下のいずれかの方法で7月22日(金)までにお申込みください。

①電子メールで申し込み・・・アドレス gakumu@matsue.u-shimane.ac.jp

②ファックスで申し込み・・・FAX 0852-21-8150

下記事項を記入してください。

(記入内容)

氏名、フリガナ、性別、学校名、学年、都道府県名、

連絡先(電話番号又はメールアドレス)、志望学科・系、取り上げて欲しい事柄・要望、

保護者・家族と一緒に参加の場合:参加人数(本人を除く)

5. 問い合わせ先

島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課

TEL 0852-20-0236 または上記のメールアドレス・FAXまで

6. ミニオープンキャンパスの開催について

オープンキャンパスに参加できなかった方のための学校説明会を下記により開催します。

【開催日時】 平成23年9月24日(土) 午後1時より2時間半程度

【内容】 概要説明、施設案内、個別相談

【参加申込み】 6月中旬以降、島根県立大学短期大学部ホームページにて御確認ください。

オープンキャンパス



2011.8.10 [WED] オープンキャンパスで自分の未来が見えてくる
 10:00~15:30 自分の羅針盤を探しにいきませんか



授業や資格取得、就職や編入学、学生生活から学生寮のことなど...
 聞いて安心できる内容が盛りだくさん

学校について
 知りたいことを
 聞いてみよう!

- ◆全員にオリジナルグッズプレゼント
- ◆学生寮見学
 女性限定10:00~13:00
- ◆学科・系列の説明、個別相談
- ◆昼食無料

数に限りがあります。
 当日は、学内食堂(カリヨン)を開放しております。

当日のスケジュール

- 9:30~11:00 受付
- 10:00~10:50 概要説明(第1回)〈大講義室〉
◎入学紹介・入試説明等
- 10:50~11:10 施設案内〈大講義室前出発〉
- 11:00~11:50 概要説明(第2回)〈大講義室〉
◎入学紹介・入試説明等
- 11:50~12:10 施設案内〈大講義室前出発〉
- 13:30~15:30 各学科・系の説明及び見学
- 15:30~ 個別相談〈各教室〉

ミニオープンキャンパス

~オープンキャンパスに参加できなかった方のための学校説明会~

- 開催日時**
 9月24日(土)
 午後1時より2時間半程度
- 内容**
 概要説明、施設案内、個別相談
- お申込み方法**
 6月中旬以降、
 島根県立大学短期大学部ホームページ
<http://www.u-shimane.ac.jp>
 にてご確認ください。

※概要説明の第1回、第2回(同じ内容です)どちらかにご参加下さい。



松江キャンパスへの
アクセス



- JR松江駅から車で15分
市営バス(一番のりば)をご利用の場合
(所要時間約30分)
南循環外回り(約30分間隔)
「県立短大前」下車(徒歩約1分)
- JR乃木駅から車で5分
- 松江中央ランプ及び松江西
ランプから車で2~3分



お申込み方法



以下のいずれかの方法で7月22日(金)までにお申し込みください。

①電子メールで申し込み……アドレス gakumu@matsue.u-shimane.ac.jp
件名を「オープンキャンパス申込み」とし、下記事項を記入してください。

記入内容 氏名、フリガナ、性別、学校名、学年、都道府県名、連絡先(電話番号又はメールアドレス)、志望学科・系、取り上げて欲しい事柄・要望、保護者・家族と一緒に参加の場合:参加人数(本人を除く)

②ファックスで申し込み……FAX 0852-21-8150
下記申込書に必要な事項を記載しFAXしてください。

8月10日のオープンキャンパス参加申込書 (FAX専用)

参加者氏名	フリガナ	あなたご自身は <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 保護者・家族 <input type="checkbox"/> 高校教員	学校名
性別	男 女		学 年 年
連絡先 電話番号 E-mail			都 道 府 県
志 望 学 科	<input type="checkbox"/> 健康栄養学科 <input type="checkbox"/> 保育学科 総合文化学科	<input type="checkbox"/> 文化資源学系 <input type="checkbox"/> 英語文化系 <input type="checkbox"/> 日本語文化系 <input type="checkbox"/> 未定	
取り上げてほしい 事 柄 ・ 要 望			
保護者・家族と一緒に 参 加 の 場 合	参加人数 人 (本人を除く)		

※お申込みの際にいただいた個人情報は、オープンキャンパスの円滑な運営を行うために利用します。
また、同個人情報は、学生募集の改善や志望動機の調査・研究を行う目的をもって公立大学法人島根県立大学が管理します。他の目的での利用及び法人の関係教職員以外への提供は行いません。



〒690-0044 島根県松江市浜乃木7丁目24番2号
TEL 0852-20-0236 FAX 0852-21-8150
E-mail gakumu@matsue.u-shimane.ac.jp
U R L <http://www.u-shimane.ac.jp/>

平成23年6月8日
島根県立大学短期大学部 出雲キャンパス
教務学生課 小林・矢富（やどみ）
〒693-8550 島根県出雲市西林木町151
(TEL)0853-20-0215 (FAX)0853-20-0201

平成23年度 オープンキャンパスの実施について

1. 日時

■オープンキャンパスⅠ

平成23年8月6日（土） 13:00～16:10（受付12:30～）

※ 専攻科：地域看護学専攻（保健師養成課程）・助産学専攻（助産師養成課程）志望者が主な対象だが、看護学部看護学科（平成24年4月開設予定：設置認可申請中）志望者の個別相談にも応じます。

■オープンキャンパスⅡ

平成23年8月20日（日）13:00～16:30（受付12:30～）

※ 看護学部看護学科（平成24年4月開設予定：設置認可申請中）志望者が主な対象だが、専攻科：地域看護学専攻（保健師養成課程）・助産学専攻（助産師養成課程）志望者の個別相談にも応じます。

2. 場所

島根県立大学出雲キャンパス

2. 内容

■オープンキャンパスⅠ

大学（キャンパス・学生生活）紹介、先輩が語る入試体験、ミニ講義、進路についてのフリートーク、キャンパスツアー、個別相談、過去問閲覧等

■オープンキャンパスⅡ

大学（キャンパス・学生生活）紹介、看護実技体験、キャンパスツアー、個別面談&学生交流等

4. 参加申込みについて

6月中旬頃ホームページに掲載し、専用チラシを配布予定。

5. 問い合わせ先

島根県立大学出雲キャンパス 教務学生課

TEL 0853-20-0215 FAX 0853-20-0201 E-mail kyomu@izm.u-shimane.ac.jp

平成23年6月8日

記者発表資料

交流研究課

韓国 ^{うるさん}蔚山大学校日本語・日本文化研修生の受入れ

1 期間

平成23年6月16日（木）～7月15日（金）

2 研修生

蔚山大学校 人文大学 日本語日学科 3年生17名（男2, 女15）

3 研修内容

○日本語授業：会話、文法等

○日本文化授業：石見神楽、出雲文化等

○授業体験：講義、ゼミへの参加

○ホームステイ：6月25日（土）～6月26日（日）の1泊2日

○視察研修：6月24日（金）津和野町内（紙漉体験、太鼓谷稲荷神社等）
7月5日（火）広島市内（広島平和記念資料館、広島城等）
7月13日（水）桑の木園

○学生との交流：韓国文化研究クラブ、茶道部、華道部等と交流

○その他：浜田市長表敬訪問 6月20日（月）16:00～

4 蔚山大学校の概要

- ・現代グループの出資により創立された私立の4年生総合大学
- ・所在地：大韓民国 蔚山広域市
- ・創立年：1970年
- ・学生数：約15,500名（12学部、6大学院）※2009年現況
- ・2001年5月9日、本学と交流協定締結。以後、合同シンポジウムの開催や、相互に交換留学生の派遣、語学研修生の受入等を実施

蔚山大学校日本語日本文化研修日程表

H23.5.30現在

月日		スケジュール
6/16	木	萩市(山口福祉文化大学)から移動
6/17	金	開講式 歓迎会
6/18	土	自由行動
6/19	日	
6/20	月	日本語授業 浜田市長表敬
6/21	火	日本語授業
6/22	水	授業体験 日本文化授業
6/23	木	日本語授業 授業体験
6/24	金	津和野視察研修
6/25	土	ホームステイ
6/26	日	
6/27	月	日本語授業
6/28	火	日本文化授業
6/29	水	日本語授業 授業体験
6/30	木	日本語授業
7/1	金	日本語授業 授業体験
7/2	土	自由行動 (再ホームステイ可)
7/3	日	
7/4	月	日本語授業
7/5	火	広島視察研修
7/6	水	授業体験
7/7	木	日本語授業
7/8	金	日本語授業
7/9	土	自由行動 (再ホームステイ可)
7/10	日	
7/11	月	日本語授業
7/12	火	日本文化事業
7/13	水	桑の木園視察研修
7/14	木	閉講式 送別会
7/15	金	学外研修へ(別紙)

学外研修日程表

月日(曜日)		訪問先(予定)
7/15	金	大元神楽伝承館
		波子海水浴場
		大崎鼻(韓の崎)
7/16	土	温泉津(ゆのつ)やきものの里
		韓神(からかみ)新羅神社
		五十猛(いそたけ)神社
		韓島(からしま)神社
		物部(もののべ)神社
7/17	日	石見銀山
		石見銀山世界遺産センター
		石見銀山資料館
7/18	月	出雲文化伝承館
		出雲弥生(やよい)の森博物館
		須佐神社
7/19	火	出雲大社
		日御碕・韓国(からくに)神社
		韓竈(からかま)神社
7/20	水	美保神社
		水木しげるロード
		境港
7/21	木	松江城
		八重垣神社
		玉造湯神社
7/22	金	岩国錦帯橋・六角亭
		百済部神社
7/23	土	赤間関(赤間神宮)
		下関市立考古博物館
		綾羅木郷遺跡
		下関港より帰国

平成23年6月8日
島根県立大学浜田キャンパス
担当者：教務学生課 岩本和輝
(0855-24-2213)
交流研究課 島田成毅
(0855-24-2201)

東日本大震災に伴う災害ボランティア報告会について

日時：平成23年6月22日（水）16：40～18：10

場所：講堂

対象：学生、教職員（一般市民の参加可能）

目的：東日本大震災発生から2か月が経過した状況を災害ボランティア活動に参加した学生が報告し、今後の支援活動の協力要請を行う。

次第

- 学長あいさつ
- 学生からの活動報告
 - ・浜田を明るく照らし隊として参加した学生
 - ・島根県社会福祉協議会の「災害ボランティア隊（第2クール）」
 - ・島根県社会福祉協議会の「災害ボランティア隊（第3クール）」
 - ・島根県社会福祉協議会の「災害ボランティア隊（第5クール）」
- 引率者からの報告
- 今後の支援活動
- 閉会あいさつ

平成23年6月8日
島根県立大学短期大
学部松江キャンパス
保育学科
担当者 福井一尊
電話 0852-20-0253

『第38回ほいくまつり』のご案内

1. 目的・趣旨 授業科目『児童文化』は、保育学科学生が日頃授業で学んでいることを「ほいくまつり」として舞台上で発表する。そのことを通して地域の保育、児童文化の向上に寄与することを目指すとともに、地域の子どもたちや保護者の皆さんに楽しく夢のあるひとときを過ごしてもらおうという趣旨で開催している。
2. 主催 島根県立大学短期大学部保育学科(松江キャンパス)
3. 日時 平成23年6月25日(土) 14:30～16:20(開場 13:45)
4. 場所 島根県民会館大ホール(松江市殿町)
5. 内容
歌唱 ららら♪うたおう！いつでもにっこり☆
影絵劇 ききみみずきん
劇 番ねずみのヤカちゃん
6. 対象 幼児、児童とその保護者
7. 予定来場者数 1,400人
8. 入場料 無料
9. 取り組みの特性 …… 別紙「第38回ほいくまつり」の概要のとおり
テーマ 『この指とまれ～笑顔でつながるみんなのころ～』

「第38回ほいくまつり」の概要

○取り組みの概要

「ほいくまつり」とは、本学保育学科が37年間にわたって積み上げ、改善を重ねてきた教育プログラムの名称です。授業の一環としての取り組みであり、保育学科全教員がそれぞれの専門的立場から指導・助言を行いながらも、保育学科学生による自治的・自主的活動を基本としています。内容は歌唱、影絵劇、劇等を総合表現として発表しており、毎年6月末に島根県民会館大ホールにて開催しています。約1,400人の子どもと保護者、保育関係者等に来場してもらい、地域にも親しまれている保育学科のシンボリック行事です。

- 主 催 島根県立大学短期大学部保育学科（松江キャンパス）
- 日 時 平成23年6月25日（土） 開場 13:45 開演 14:30 終演 16:20
- 場 所 島根県民会館大ホール（松江市殿町）
- 内 容 歌唱、影絵劇「ききみみずきん」、劇「番ねずみのヤカちゃん」
- 予定来場者 幼児、児童とその保護者 約1,400人

○「ほいくまつり」の目的、趣旨

- ① 授業科目『児童文化』は、保育学科学生が日頃授業で学んでいることを「ほいくまつり」として舞台上で発表する。そのことを通して地域の保育、児童文化の向上に寄与することを目指すとともに、地域の子どもたちや保護者の皆さんに楽しく夢のあるひとときを過ごしてもらおうという趣旨で開催している。
- ② 実践活動を通して、子ども理解や児童文化の理解と創造のための力を養い、具体的な表現方法を習得し、保育における知識と技術の総合的な向上を図ります。
- ③ 保育学科学生全員による組織的、集団的かつ自治的、自主的活動を通し、相互に豊かな人間性を涵養します。

○取り組みの特性について

1. 全てが手作り

（保育学科学生100名全員参加で、歌唱・影絵劇・劇・ポスター、ペンダント・大道具・小道具・司会・音響効果・照明・衣装・記録の11のパートに分かれて取り組んでいきます。1・2年生が縦割り組織の中で、リーダーシップとフォロワーシップを学びます。なお、その全てが手作りで進められます。）

2. 「本物」を最大、最高の舞台上

3. 「子ども主体」の発表プログラム

■「ほいくまつり」のはじまり

昭和48年、島根県立島根女子短期大学に保育科が新設されました。県民が寄せる保育教育への期待には、下記の点がありました。

1. 学生を中心とした前向きで積極的、そして実践的な活動を通して地域の保育サービスをする。
2. 大学生活で学ぶ知識は単に享受するだけにとどまらず、地域社会の子どもたちと触れ合い、交流する中で還元を図る。
3. 体育的、芸術的、音楽的活動を三本柱として、1・2年全学生と子どもが一緒になり、遊びながら同時に学び、全学生の団結を図る。

これらを実現する具体的な学びの場として、明るく昭和49年7月に第1回『ほいくまつり』が開催されたのです。

38年前、新設間もない保育科の有志学生が中心となり、溢れんばかりの保育に寄せる情熱と、探求心、そして夢を全学生で具現化し、発表する形で「ほいくまつり」は誕生しました。その思いは現在に引き継がれており、情熱と、探求心を基軸として全てを手作りで作り上げるという精神は伝統となっています。

会場は県内最大の舞台と収容人数を有する島根県民会館が選ばれ、名称はその主旨とイメージから幼児に馴染みやすい『ほいくまつり』とされました。それ以来毎年欠かすことなく『ほいくまつり』は開催され、今年で38回を数えることとなりました。

■特色 GP に採択

本学保育学科のシンボル「ほいくまつり」の取組が、優れた大学教育を支援する平成17年度「特色ある大学教育支援プログラム」（文部科学省公募）に採択されました。

※採択理由（特色ある大学教育支援プログラム実施委員会）

「33年間という長期にわたって継続し発展させてきた『ほいくまつり』は、学生の自治的自主的活動を基本とした取組で、実践的な活動を通じて子どもたちと直接触れ合い、学生が集団の中で互いに高まり合う具体的な学びの場として高く評価できます。この取組は、教育上のねらいも明確で、保育者としての能力の育成とともに、地域への児童文化に寄与できるものです。また、今日まで継続的に取り組んできたことは、地域連携や生涯学習の視点から見ても評価できます。」





*画像は去年の発表内容です

第38回ほいくまつり

趣旨

「ほいくまつり」は本学保育学科学生全員が、日頃の学習、研究で習得した知識、技能を総合表現として実社会において発表するものです。この活動を通して学生自らの保育に対する態度を律し、併せて地域の児童文化の向上に努めることを目的としています。

主催	島根県立大学短期大学部保育学科(松江キャンパス)
日時	平成 23 年 6 月 25 日(土) 14:30~16:20 終演予定
場所	島根県民会館大ホール(松江市殿町)
対象	幼児、児童とその保護者
入場料	無料
発表内容	・歌唱 ららら♪うたおう!いつでもにっこり☆ ・影絵劇「ききみみずきん」 ・劇 「番ねずみのヤカちゃん」
テーマ	『この指とまれ~笑顔でつながるみんなのころ~』

【問い合わせ先】

島根県立大学短期大学部保育学科
 美術工芸研究室 福井 一尊
 電話・Fax:0852-20-0253(直)
 E-mail:k-fukui@matue.u-shimane.ac.jp

2011/06/08
島根県立大学
松江キャンパス
総合文化学科
担当：小泉凡
電話 0852-26-5525

公開授業「響き合う神話の音 — ハーンがつなぐギリシャと出雲 — 」 の開催について

松江キャンパスでは、ギリシャ在住のメゾソプラノ歌手清水かおるさんをお迎えして、下記の公開授業として実施します。

みなさんのご来場をお待ちしております。

記

1. 期 日 平成23年7月1日 金曜日
2. 時 間 午前10時40分～12時10分
3. 場 所 県立大学短期大学部松江キャンパス 大講義室
4. テーマ 「響き合う神話の音 —ハーンがつなぐギリシャと出雲— 」
5. 参 加 学生及び一般参加者、参加料は無料
6. その他 「小泉八雲入門」(総合文化学科・文化資源学系1年次専門科目)にテーマを設定し、6月末に日本ギリシャ協会の招きで来日するギリシャ在住のメゾソプラノ歌手清水かおるさん(ピアノ伴奏は児玉ゆかりさん)を迎え、公開授業として実施します。

【授業概要と趣旨】

小泉凡による、ハーンのギリシャへの思い、ハーンがとらえた出雲神話とギリシャ神話に関するトークを交えながら、清水かおるさんに『古事記』の黄泉比良坂の物語と類似したギリシャ神話「オルフェウスとエウリュディケ」をテーマとする歌曲やギリシャ歌謡を、児玉ゆかりさんの伴奏で歌っていただく。

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が深い思いを寄せたギリシャと出雲の文化的響き合いを、音楽とトークを通じて学生や来場のみなさんに体感してもらいたい。

授業終了後にギリシャのハーブティーを提供し、交流の場を持つ予定です。

※清水かおるさん及び児玉ゆかりさんのプロフィール及びプログラム抜粋は別紙のとおり



清水 かおる

メゾソプラノ

(Kaoru Shimizu mezzo-soprano)

東京生まれ '98年よりギリシャ在住。

アテネギリシャ アポロ音楽院に於いて、60-70年代を代表するギリシャ人バリトン歌手コスタス・パスカリスに師事、同氏よりマスタークラス終了。

パリフランスにて、フランス国立高等音楽院 (CNSM) 前教師アンナ-マリア・ミランダに師事。アテネに帰国後、コリダロス音楽院に於いてアメリカを中心に活躍したギリシャ人ソプラノ、イリーニ・ツィラキドゥに師事、同学院を首席で卒業。

在学中アテネメガロン・コンサートホールで公演されたモーツァルトのオペラ'魔笛'にコーラスで出演、その後アテネに於いてリサイタル、ギリシャ-日本の架け橋になりチャリティーディナーや祝典などで演奏、イタリア、フランスオペラアリア、ドイツリート、日本歌曲、ギリシャ愛唱歌を歌うなどレパートリーは幅広い。また在学中、及川クラシック主催のオーディションにて優秀新人賞受賞。2010年ギリシャレフカダ島での劇公演「ラフカディオ・ハーン」の絵で、小泉セツを演じる。今年在アテネ国立歌劇場(Greek National Opera)に於いて開催されたE.ヴェニゼロス没後75年記念式典に出演、唯一の日本人としてオペラアリアを歌い、好評を得る。

児玉 ゆかり ピアノ (Yukari Kodama piano)

都立藝術高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。宗施月子、伊達純、松浦豊明、北村陽子各氏に師事。

現在は声楽、器楽、合唱の伴奏を中心に活動している。

また、オペレッタやヨーデルの伴奏、アレンジも手掛けている。

プログラム抜粋（予定）

グルック作曲: 歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」より
~エウリディーチェを失って
(C.W.Gluck: 'Orfeo ed Euridice' Che faro senza Euridice?)

ビゼー作曲: 歌劇「カルメン」より ~セギディーリャ
(G.Bizet: 'Carmen' Seguidilla)

岡野貞一作曲: 朧月夜

マノス・ハジダキス作曲: 月へ散歩に出かけよう
(M.Hadjidakis: Pame mia volta sto feggari)

ミクス・テオドラキス作曲: 人知れぬ浜辺
(M.Theodorakis: Sto Perigiali to krifo)

その他

平成23年6月8日
島根県立大学短期大学部
出雲キャンパス
担当者:山下一也・吾郷ゆかり
電話 0853-20-0200(代)

特別講演「医療のあり方:がん哲学外来 in Medecal cafe」の開催

1 目的

がん病理学の視点からがん哲学を提唱されている樋野興夫氏の特別講演を開催し、がん患者と向き合う姿勢について学ぶ。

平成20年1月に、樋野興夫氏が日本ではじめて順天堂大学医学部内にかん哲学外来を開設したが、外来の枠はすぐ埋まり、多くの患者が悩みを打ち明けた。

2 開催日時

平成23年6月21日(火)9:00~10:30

3 場所・会場

島根県立大学短期大学部出雲キャンパス 大講義室

4 講師

順天堂大学大学院医学系研究科 教授 樋野興夫 氏

5 内容

島根県はがんの死亡率が非常に他県よりは高く、県の施策にもがん死亡率の減少が強く打ち出されている。

今回、がん病理学者で非常に有名な樋野興夫氏を講師に呼び、がんについて考える。樋野氏は、「がん哲学」という概念を提唱し、「がん細胞から人間社会の病理が見える」と主張し、現代に警鐘を鳴らす学者として有名である。

全く新たな視点から「がん」について考える講演である。

6 出席者・参加人数

本学看護学科1年生及び2年生 160名

7 講師略歴

樋野興夫(ひの おきお)氏

1954年、島根県生まれ。順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授、順天堂大学大学院医学研究科環境と人間専攻分子病理病態学教授、医学博士。米国アインシュタイン医科大学肝臓研究センター、米国フォクスチェースがんセンター、癌研実験病理部長を経て、現職。順天堂大学医学部附属順天堂医院に2005年に「アスベスト・中皮腫外来」、2008年に「がん哲学外来」を開設した。

主な著書に『われ 21世紀の新渡戸とならん』『われ Origin of Fire たらん—がん哲学余話』『がん哲学』などがある。

平成23年6月8日
島根県立大学短期大学部
出雲キャンパス
担当者:山下一也・高橋恵美子
電話 0853-20-0200(代)

「いずも SS2011 ADHD の子どもへの対応」研修会の開催

1. 目的

発達障がいのうち、ADHD(注意欠如／多動性障害)の子どもの行動を改善することを目標とした包括的治療プログラムが、米国 NY 州立大学バッファロー校(現・フロリダ国際大学)のウィリアム・E・ペラム教授によって開発され、1980 年から約 30 年の実績がありアメリカ国内各地で行われている。

わが国でも、久留米大学小児科の山下裕史朗准教授が、2005 年から「くるめ STP(Summer Treatment Program)」として、初めて導入し、さらに、わが国2例目となる 2010 年に出雲市の一中校区で「いずも SS(Summer School)2010」として行った。今回は、くるめSTPから、臨床心理士穴井千鶴先生をお迎えして ADHD の子どもの行動療法の理論に基づき、矯正していくお話し等をしていただく。

2. 開催日時

平成23年6月25日(土)9:30～16:30

3. 場所・会場

出雲市立第一中学校

4. 講師

久留米大学比較文化研究所研究員 穴井千鶴 氏(臨床心理士)

5. 内容・対象

近年、ADHD をはじめとする発達障がいのある子どもたちへの対応がわが国の学校教育における大きな課題となっている。平成 15 年の文部科学省の報告によると、このような子どもたちは小中学校の通常の学級に約 6.3%在籍していると推定されており(島根県、出雲市でもほぼ同様の頻度である)、多くの子どもたちが学習や対人関係のつまずきなどから学校生活で不適応をきたしていると考えらる。

より良い対応のためには、教育・医療・保健・福祉等の関係機関の連携推進による包括的な支援体制の構築が求められているが、その具体的、効果的な方法については明確にされていない。

今回、出雲市の一中校区の小学校・中学校や本学などが協力して「いずも SS2011」を昨年に引き続き行うこととし、ADHD の子どもの行動療法の理論と実際を講義と演習を交えながら研修する。

6. 出席者・参加人数

主に、島根県立大学短期大学部出雲キャンパス学生と出雲市内小中学校教諭 計40名

平成23年6月8日
島根県立大学短期大学部 出雲キャンパス
教務学生課 小林・矢富（やどみ）
〒693-8550 島根県出雲市西林木町151
(TEL)0853-20-0215 (FAX)0853-20-0201

「看護学志望者セミナー」開催について

1. 目的 看護や医療に対する理解を深め、学習意欲の向上を目指す
2. 期日 平成23年6月11日（土）
3. 場所 島根県立大学短期大学部出雲キャンパス
4. 主催者 松江北高校、松江南高校、松江東高校三校教科・進路指導研究会、
島根県立大学短期大学部出雲キャンパス
5. 対象 松江北高校、松江南高校、松江東高校の看護学を志望する生徒
6. 内容 ミニ講義、学内施設見学、看護実技体験（バイタルサイン測定、沐浴）他
※バイタルサイン～脈拍・体温・血圧・呼吸
7. 当日のスケジュール（予定）
 - 9:50 出雲キャンパス着
 - 10:05～10:55 講義「看護とはどんな学問か」（仮題）
 - 11:00～11:30 学内施設見学
 - 11:30～12:10 昼食・休憩
 - 12:15～13:35 看護実技体験「バイタルサイン測定」「沐浴」
 - 13:50 出雲キャンパス発

以 上

平成 23 年6月8日
島根県立大学短期大学部
出雲キャンパス
看護学科
担当者 福澤陽一郎
電話 0853-20-0200 (代)

中村俊郎客員教授特別講義

「石見銀山の地から希望の補装具を！！」の開催について

1. 目的

本学の客員教授に平成 23 年度就任された、中村俊郎氏の特別講義を実施する。看護学科2年次、1年次生の講義として実施するが、たくさんの学生・教職員、地域の方々も参加できるような時間帯に開催する。

2. 日時 平成 23 年6月 22 日(水)pm1:10~2:40

プログラム

第 1 部 pm1:10~1:15 挨拶・講師紹介
pm1:15~2:30 特別講義
pm2:30~2:40 質疑・まとめ
休憩

第 2 部 pm2:50~4:50 映画鑑賞会(自由参加)
「アイ・ラブ・ピース」

3. 会場 島根県立大学短期大学部出雲キャンパス 大講義室

4. 講師 中村俊郎客員教授(中村ブレイス株式会社 代表取締役社長)

5. 参加人数 約 200 名

6. 参加方法 特別講義は、本学学生を対象にしていますが、参加希望の方は、会場に直接お出かけください。事前申し込みは不要です。

7. これまでの経緯や今回の特徴など

客員教授として2回目の講義であり、前回と同様に、看護学科2年次生が講義の準備から当日の運営まですべてを、講師の了解の下行います。

8. 講師略歴

中村 俊郎(なかむら としろう)氏

1948 年、島根県生まれ。京都と米国カリフォルニア州での義肢装具製作の研修・留学を経て、郷里の島根県大田市大森町(人口 650 人(現在 500 人))の自宅前の 10 坪(33 平方メートル)の納屋を改装して中村ブレイスを設立した。1982 年に中村ブレイス株式会社となり、現在では国内に留まらずアメリカ、イギリス、ドイツなど世界 30 カ国に製品を提供する。

医療用具で人々の元気の「もと」となることを願い、そして過疎化のすすむ史跡の町「石見銀山」再生の一助になればと、社員とともに一丸となって世界遺産登録を目指し、2007 年7月に悲願の「石見銀山遺跡とその文化的景観」としてユネスコの世界遺産に登録を達成する。

島根県立大学短期大学出雲キャンパス

客員教授特別講義

日時：平成23年6月22日(水) 13:10~14:40

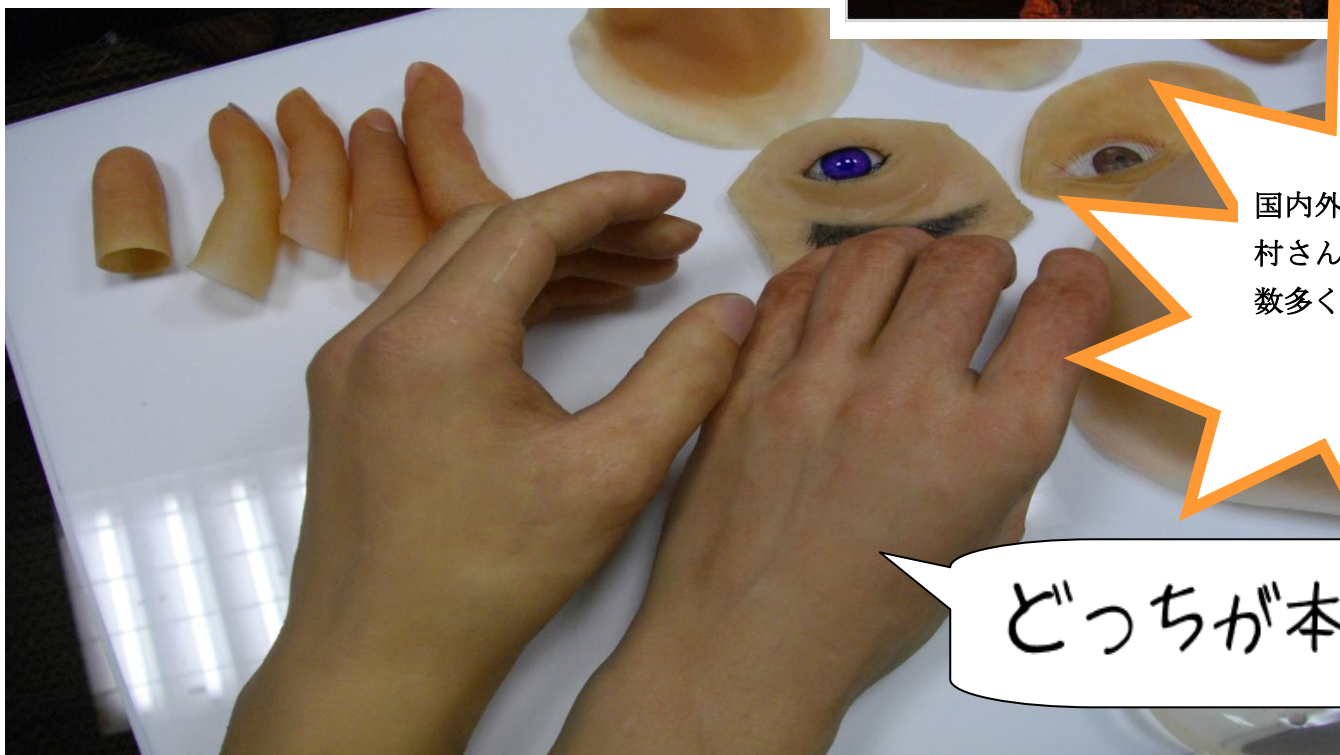
会場：出雲キャンパス 大講義室

テーマ：「石見銀山の地から希望の補装具を!!」

中村 俊郎 客員教授

中村フレイス株式会社代表取締役社長

中村フレイスは島根県大田市にある技師装具メーカー。類まれな技術と情熱で世界30カ国以上に元気を与えています。また、テレビ東京「カンブリア宮殿」「池上彰の世界を見に行く」等、数々のTVに出演し、マスコミに取り上げられています。



国内外で、活躍されている、中村さんの活動が、書物や映像で数多く紹介されています。

どっちが本物の手かな？

特別講義のあとに 映画
「アイ・ラヴ・ピース」
を上映するよ！

14:50~16:50 自由参加



この映画は、アフガニスタンで最も関心の高い日本の義足製作支援活動をテーマとして作られ、中村フレイスをモチーフにした作品です。

義足製作支援の現状を、日本映画初のアフガニスタンロケを交え、島根県大田市で撮影されました。

平成23年6月8日
島根県立大学
短期大学部 出雲キャンパス
看護学科 別所史恵
電話 0853-20-0200 [代表]

成人看護特論（災害看護）における看護学生の防災ヘリ試乗体験

1. 目的

- 1) 島根県を取り巻く医療情勢について考え、ドクターヘリ導入という視点から、災害看護に対する理解を深める。
- 2) 医療機関、消防機関、市町村、県など多くの機関の有機的な連携による安全で効果的な防災ヘリ（ドクターヘリ）の運行について理解を深める。
- 3) 防災ヘリの役割と連携について考えることができる。

2. 日時

平成23年6月10日（金） 9:30~12:00

3. 場所・会場

島根県簸川郡斐川町大字中洲 2677 番地（出雲空港内）
島根県防災航空管理所 施設

4. 内容

- 1) 職員からの講義
業務内容（活動状況）、防災ヘリの役割、医療機関との連携の理解、
訓練状況について
- 2) 防災ヘリ、ヘリ機材、訓練施設等の見学
- 3) 防災ヘリの試乗体験
（一人患者役として搬送される役）

5. 対象

看護学科3年次生 成人看護特論受講者8名
引率教員1名（成人看護学担当 別所史恵）

6. 参加方法

格納庫等に入るための許可証を管理事務所に発行してもらう必要があります。

記者の取材の場合、前日6月9日12:00までに、「担当 別所」まで名前（漢字・ふりがな）をご連絡いただければ、翌日スムーズに入れるよう手配いたします。当日急遽の取材の場合は、手続きを行ってもらう必要があります。

注意事項

- 1) 有視飛行となるため、雨天の場合はヘリの試乗体験は中止になります。（その他の見学は実施します）
- 2) ヘリのそばは強風となるため、はだけない服装、ピンなど物が飛ばないように身支度をお願いいたします。

7. その他

防災ヘリに看護学生が乗るのは初めての試みとなります。

看護学生に救命救急医療、防災に興味関心を持ってもらいたいです。また、学生には一地域住民としての視点からも、防災ヘリやドクターヘリが担う役割や必要性について理解を深めて欲しいと思っています。そして、県民の皆様のご理解にもつながって欲しいです。

また、当日出雲空港には、翌週から導入予定の新しいドクターヘリが来る予定です。現在医療対策課に依頼中ですが、学生には、外観だけでも見せてもらえるようお願い中です。間近でドクターヘリが見れることも期待しています。